

科目	人間学Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>「人間学」は、御命日勤行と座談で構成され、「本学の願い」に触れることを通して人間を学ぶ。 御命日勤行の主な内容は、勤行・仏教讃歌・感話・講話。 感話は学生・教職員が行い、講話は教科書をもとに担当教員が行う。いずれもテーマは「私のままで輝ける」（本学のテーマ）。 座談は、御命日勤行での講話・感話を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合い、聞き合う。 本授業は、基礎科目の学習成果（6）に対応する。</p>		
到達目標	<p>「本学の願い」に触れ、人間としてどう生きるのが尋ねることができるようになる。 講話や感話から他者の意見を聞き、自分自身の考えを表現できるようになる。 本授業によって、基礎科目の学習成果（6）を得ることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>「人間学」を通して感じたこと、考えたことを「人間学ノート」に記述する。 「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。</p>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「本学の願い」に学ぶ1 御命日勤行①（4月19日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
2.	「本学の願い」に学ぶ1 座談①（4月19日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
3.	「本学の願い」に学ぶ2 御命日勤行②（5月24日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
4.	「本学の願い」に学ぶ2 座談②（5月24日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
5.	「本学の願い」に学ぶ3 御命日勤行③（6月21日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
6.	「本学の願い」に学ぶ3 座談③（6月21日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
7.	「本学の願い」に学ぶ4 御命日勤行④（7月19日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
8.	「本学の願い」に学ぶ4 座談④（7月19日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	『釈尊 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度（20%）・「人間学ノート」提出（80%） 提出された「人間学ノート」にコメントし、フィードバックする。		
特記すべき事項	各授業において、予習30分、復習30分を行う。		
質問・相談等の受付			

科目	人間学Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 必修、人間の基礎
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>「人間学」は、御命日勤行と座談で構成され、「本学の願い」に触れることを通して人間を学ぶ。 御命日勤行の主な内容は、勤行・仏教讃歌・感話・講話。 感話は学生・教職員が行い、講話は教科書をもとに担当教員が行う。いずれもテーマは「私のままで輝ける」（本学のテーマ）。 座談は、御命日勤行での講話・感話を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合い、聞き合う。 本授業は、基礎科目の学習成果（6）に対応する。</p>		
到達目標	<p>「本学の願い」に触れ、人間としてどう生きるのが尋ねることができるようになる。 講話や感話から他者の意見を聞き、自分自身の考えを表現できるようになる。 本授業によって、基礎科目の学習成果（6）を得ることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>「人間学」を通して感じたこと、考えたことを「人間学ノート」に記述する。 「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。</p>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「本学の願い」に学ぶ5 御命日勤行⑤（10月18日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
2.	「本学の願い」に学ぶ5 座談⑤（10月18日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
3.	「本学の願い」に学ぶ6 御命日勤行⑥（11月15日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
4.	「本学の願い」に学ぶ6 座談⑥（11月15日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
5.	「本学の願い」に学ぶ7 御命日勤行⑦（12月6日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
6.	「本学の願い」に学ぶ7 座談⑦（12月6日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
7.	「本学の願い」に学ぶ8 御命日勤行⑧（1月17日3限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
8.	「本学の願い」に学ぶ8 座談⑧（1月17日4限目）	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	『親鸞 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度（20%）・「人間学ノート」提出（80%） 提出された「人間学ノート」にコメントし、フィードバックする。		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	自己との出会い I	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>学科ごとに少人数クラスで、感話と座談を中心とした授業を行う。感話と座談、そして、感想文を書くことを通して社会について学ぶ。</p> <p>本授業は、基礎科目の学習成果 (7) に対応する。</p>		
到達目標	<p>社会の出来事についての対話を通して、社会とは何かを考え、表現することができるようになる。</p> <p>本授業によって、基礎科目の学習成果 (7) を得ることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>授業内課題、感想文提出への取り組みを「受講態度」「授業内課題」の評価とする。</p>		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「社会との出会い」とは何を学ぶ時間かを確かめる—全体講義—	予習：「授業要覧」と教科書を読む (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
2.	自己紹介をする①	予習：教科書を読む (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
3.	自己紹介をする②	予習：教科書を読む (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
4.	他己紹介をする①	予習：教科書を読む (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
5.	他己紹介をする②	予習：教科書を読む (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
6.	感話をする	予習：感話を考える (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
7.	本学の願い「共に歴史と世界を生きる」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
8.	「生きる方向」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
9.	「周りの発見」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
10.	「愛情」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
11.	「友達」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
12.	「家族」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
13.	「社会との関わり」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
14.	「本当の自由」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
15.	「本当の平等」について考える	予習：教科書を読む、発表準備 (30分) 復習：疑問点の確認 (30分)	
教科書	『親鸞 生涯と教え』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) 定期試験 (30%)		
特記すべき事項	各授業において、予習30分、復習30分を行う。		
質問・相談等の受付			

科目	人権論	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	横田亮雄・組坂幸喜	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人権の概念や確立の歴史について学び理解する。部落差別をはじめとする現代社会に渦巻く様々な人権問題について学び、人権の必要性を理解し、人権尊重及び人権を擁護する態度を育成する。		
到達目標	「人としての生き方」という視点から、人権の概念や様々な人権問題についての科学的認識と感性を深めるとともに、人権確立社会を目指す意思や実践力を身につける。		
学習成果の評価基準	人権の概念について科学的認識に基づく理解を持ち、実生活において社会全般の人権問題の解決を図る。(知識・態度) 社会の多様性を尊重し、地域社会で豊かに暮らせる技能を身につける。(技能・表現力)		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション・人権課題の学習計画と方法について	復習：受講態度を確認し、次時の課題について調べる	
2.	「人権」という言葉の基礎的歴史と人権侵害の実態について	予習：人権侵害について調べる 復習：人権の内容をまとめる	
3.	生活の中に見られる具体的な人権と憲法について	予習：日本国憲法を読み通す 復習：人権にかかわる条文をまとめる	
4.	様々な人権問題について	予習：社会の人権問題を調べる 復習：身近な人権問題をレポートする	
5.	国内の人権課題の現状について1	予習：障害者差別解消法について調べる 復習：障害者の抱える課題を整理	
6.	国内の人権課題の現状について2	予習：「同和」の用語について調べる 復習：部落差別の課題をまとめる	
7.	国内の人権課題の現状について3	予習：病気などによる差別を調べる 復習：ハンセン病やその他の感染	
8.	国内の人権課題の現状について4	予習：ヘイトスピーチ解消法について調べる 復習：多文化共生についてレポート	
9.	国内の人権課題の現状について5	予習：LGBTQについて調べる 復習：性の多様性に関する課題をまとめる	
10.	グローバルな視点での人権問題について	予習：海外での人権問題を調べる 復習：インクルーシブについてまとめる	
11.	インターネットなどでの人権問題について	予習：ネット上の人権侵害を調べる 復習：SNSの発信に関する自身の	
12.	実生活上の人権問題について	予習：身近にあった事件をレポートする 復習：家族の人権についての自身の	
13.	人権確立に向けたスキルアップについて1	予習：差別の原因を調べる 復習：差別事象への対応をレポートする	
14.	人権確立に向けたスキルアップについて2	予習：差別を許さず・見逃さない行動を考える 復習：差別をなくすための行動を	
15.	人権問題についての個人発表と交流	予習：講義を通しての気づきをレポートする 復習：他人に人権を説明する方法	
教科書	人権教育・啓発に関する様々な書籍・資料(映像や音声を含む)・報告書等		
参考書	日本国憲法、障害者差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法等		
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(20%) 授業内発表(30%) 予復習課題(10%) 授業内試験(10%)		
特記すべき事項	予習・復習ともに2時間を要する内容の課題を提示する。またレポートについては2時間程度を要するものとする。 担当者は、中学校において22年間教師の経験あり、真宗大谷派九州教区解放運動推進協議会会長を務めている。		
質問・相談の受付	講義中、随時質問を受け、その都度回答する。講義後の質問については、次時に文書で回答する。相談については、講義後の日でも相談があれば、学生支援課を通じて対応する。		

科目	人権論	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	牛島修彦・松本 慈	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人権の概念や確立の歴史について学び理解する。 同和問題をはじめ現代の様々な人権課題について学び理解する。 マイノリティの人たちとの出会いを通して、人権意識を高め、差別をなくそうとする態度を培う。		
到達目標	人権の概念や様々な人権課題について科学的認識を深め、人権が大切にされる社会をめざす意志と実践力を養う。		
学習成果の 評価基準	「差別しない」意識から「差別をなくそう」という社会参加への意識を持つことができるようになる。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション・様々な人権課題について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
2.	現代社会における人権侵害を取り巻く状況について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
3.	生活の中に見られる固定観念・偏見・差別について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
4.	格差社会における、子どもと家庭を取り巻く状況	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
5.	子どもの権利と福祉・親育てについて	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
6.	外国にルーツを持つ子どもたちを取り巻く状況について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
7.	障がい者問題について（GT）	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
8.	LGBTQについて（小中学校における取り組みから）	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
9.	水俣病事件について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
10.	女性問題について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
11.	SNS等、ネット上における差別書き込みについて	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
12.	部落差別の実態について	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
13.	部落差別の現実について学び、差別の解消に向けて考える	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
14.	様々な人権課題についての考えをまとめる	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
15.	学習してきた人権課題についての個人発表と交流	人権問題を事前調査（予習30分） 授業を振り返る（復習30分）	
教科書	人権・同和教育における書籍・資料・調査報告から作成した資料を使う		
参考書	人権・同和教育における書籍・資料・調査報告 等		
学習成果の 評価方法	受講態度・小テスト・授業内課題・授業内発表・定期試験		
特記すべき 事項	特になし		
質問・相談 の受付			

科目	仏教の歴史と文化	開講時期 履修方法	1年後期集中 選択、人間の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	8月24日(木)～31日(木)の日程で、仏教誕生の地インドを訪ねる。ブッダ釈尊の足跡(成道の地ブッダガヤ・初転法輪の地サールナート・入滅の地クシナガラなど)を通して、仏教の歴史と文化を学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(7)に対応する。		
到達目標	インド研修に参加し、釈尊の生涯と教えを理解できるようになる。 本授業によって、基礎科目の学習成果(7)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	インド研修への積極的な参加を「受講態度」の評価、研修後の感想レポート提出を「レポート」の評価とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	事前学習	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
2.	ブッダガヤ研修① 大塔、金剛宝座参拝	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
3.	ブッダガヤ研修② スジャータの村訪問、前正覚山の留影窟参拝	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
4.	ラージギル研修① 霊鷲山参拝	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
5.	ラージギル研修② 南門、竹林精舎など見学	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
6.	ヴァイシャリ研修① ヴァイシャリ参拝(1)	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
7.	ヴァイシャリ研修② ヴァイシャリ参拝(2)	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
8.	クシナガラ研修① 涅槃堂参拝	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
9.	クシナガラ研修② ラーマパール参拝	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
10.	ヴァラナシー研修① ガンジス川沐浴見学	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
11.	ヴァラナシー研修② マハラジャ宮殿など見学	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
12.	サールナート研修① ダメーク・ストゥーパ参拝	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
13.	サールナート研修② 考古学博物館など見学	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
14.	事後学習	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
15.	レポート作成	予習:教科書を読む(30分) 復習:授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
教科書	『釈尊 生涯と教え』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(70%) レポート(30%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	親鸞入門Ⅰ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	11月27日(月)～29日(水)の2泊3日の日程で、京都東本願寺の報恩講に奉仕団として参拝する。東本願寺の同朋会館に宿泊し、法要参拝・講義・座談などを行うことによって、親鸞の生涯と教えを学ぶ。本授業は基礎科目の学習成果(7)に対応する。		
到達目標	報恩講奉仕団に参加し、親鸞の生涯と教えが理解できるようになる。 本授業によって、基礎科目の学習成果(7)を得ることができる。		
学習成果の評価基準	報恩講奉仕団への積極的な参加を「受講態度」の評価、奉仕団参加後の感想レポート提出を「レポート」の評価とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要	予習：「授業要覧」を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
2.	11/27(月) オリエンテーション	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
3.	講義	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
4.	座談	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
5.	11/28(火) 晨朝勤行参拝	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
6.	法要参拝①	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
7.	法要参拝②	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
8.	清掃奉仕	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
9.	夕事勤行参拝	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
10.	講義	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
11.	座談	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
12.	11/29(水) 晨朝勤行参拝	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
13.	諸殿拝観	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
14.	座談	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
15.	レポート作成	予習：教科書を読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分)	
教科書	『親鸞 生涯と教え』		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(70%) レポート(30%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	キャリアデザインⅠ	開講時期 履修方法	1年前期 必修、社会の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義・演習 1単位
授業概要	<p>「自分を知る」前に踏み出す力</p> <p>1) 「学生生活の安定」では、大学生としての基本的な知識を修得する。</p> <p>2) 「自己分析」では、自己理解を通し、職業の適性を分析する。</p> <p>3) 「主体性」では、他者とのワークを通して、主体性を学ぶ。</p> <p>4) 「表現力」では、表現と社会のマナーについて学ぶ。</p>		
到達目標	<p>毎授業冒頭に、社説等を視写し、書く力を習得する。</p> <p>毎授業の理解度を図るため、振り返りを書き評価対象とする。</p> <p>ペアワーク、グループワークを通し、他者と共に課題を解決する協働力ができるようになる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>到達目標に明示している書く力や振り返りのレポートを書き、他者と共に課題を解決する協働力などができる事などを評価とする。</p>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	キャリアデザインとは何か、なぜ必要なのか。マイロードマップの説明、「マイロードマップⅠ」の作成。社会人基礎力について	予習：キャリアデザインとは（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	（講義） メンタルヘルス・ストレスコントロール、大学生活を始めるにあたって、九州大谷の学生支援概要説明	予習：メンタルヘルスについて（120分） 復習：授業の振り返り（120分）	
3.	九州大谷短大のことを知る、「大谷とは」「九州大谷の意義（学科構成）」 学生生活を始める（卒業生の話）	予習：九州大谷短期大学について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	消費者教育	予習：消費者教育について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	文章力を身につける	予習：活字に振れる（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	自己分析（職業の適性検査）	予習：様々な職種について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	学生生活と健康（保健委員会）	予習：学生生活と健康について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	主体的に取り組もう（グループワーク） 「製品作りゲーム」問題を発見し、解決方法を考える	予習：主体的とは（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	（講義） キャリアプラン（人生設計）	予習：人生設計について（120分） 復習：授業の振り返り（120分）	
10.	（講義） 表現の自由と社会のマナー 情報モラル・SNSによるトラブルについて・個人情報の保護について	予習：情報モラル等について（120分） 復習：授業の振り返り（120分）	
11.	（講義） 伝える表現と社会のマナー 電話対応・ビジネスメール・郵便など	予習：社会のマナーについて（120分） 復習：授業の振り返り（120分）	
12.	「キャリアデザインⅠ」の振り返り 「マイロードマップⅡ」の作成	予習：授業の内容を振り返ること（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13.			
14.			
15.			
教科書	『就職活動ハンドブック』ディスコ編／ディスコ出版		
参考書			
学習成果の評価方法	受講振り返り（48%）授業態度（20%）その他【課題レポート】（32%）		
特記すべき事項	学生の主体的な参加が求められる講義です。講師紹介と講義のお礼の言葉は学生が担当します。		
賞・権等の受付			

科目	キャリアデザインⅡ	開講時期 履修方法	1年後期 必修、社会の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義・演習 1単位
授業概要	<p>「社会と出会う」考え抜く力 1) 「多様な外部講師」では、仕事・職業観・人生経験等について学ぶ。 2) 「学び続けることを学ぶ」では、生涯にわたって学ぶことの大切さを学ぶ。 3) 「規律性」では、社会的ルールを学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(4)に対応する。</p>		
到達目標	<p>毎授業冒頭に、社説等を視写し、書く力を習得する。 毎授業の理解度を図るため、レポートを課し評価対象とする。 グループワークを通じ、他者と協働し課題を解決する力を身につけることができる。</p>		
学習成果の 評価基準	<p>到達目標に明示している書く力やレポートを課し、グループワークを通じ他者と共に課題を解決する協働力などを評価とする。</p>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「マイロードマップⅡ」の確認、ハンドブックの説明	予習：生涯学ぶことの意味(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
2.	公務員として生きる 市役所職員を目指した理由	予習：公務員について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
3.	地域を支える生き方 人との出会い、つながりで地元を活性化	予習：地域活性化について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
4.	個人事業主という生き方・挫折から学んだこと	予習：個人事業主について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
5.	進学して学び続ける 編入について	予習：進学・編入について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
6.	社会人として学び続ける 履歴書の書き方・履歴書添え状・履歴書封筒	予習：履歴書等の記入について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
7.	(講義)社会人として学び続ける いよいよ始まる就職活動 まずやるべきこととは	予習：就職活動について(120分) 復習：授業の振り返り(120分)	
8.	(講義)お金について学び続けるために お金の使い方、お金の動きを知る	予習：お金について(30分) 復習：授業の振り返り(120分)	
9.	(講義)税金の仕組み	予習：税金について(30分) 復習：授業の振り返り(120分)	
10.	(講義)労働法制を学ぶ	予習：労働法制について(120分) 復習：授業の振り返り(120分)	
11.	大谷で学んだこと、就職活動報告(2年生体験談)	予習：就職活動について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
12.	「キャリアデザインⅡ」の振り返り 「マイロードマップⅡ」の作成	予習：授業の内容を振り返る(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
13.			
14.			
15.			
教科書	『就職活動ハンドブック』ディスコ編/ディスコ出版		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講振り返り(48%) 授業態度(20%) その他【課題レポート】(32%)		
特記すべき 事項	学生の主体的な参加が求められる講義です。講師紹介と講義のお礼の言葉は学生が担当します。		
質問・相談 の受付			

科目	おおたにの学び I (ボランティア)	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	中村秀一	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	そもそもボランティアとはなんだろう。プチボランティアのちょっとした優しさを知ろう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	災害ボランティアのための避難所見学と非難生活のために備蓄してある巨大倉庫の見学をしましょう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	筑後市社会福祉協議会にあるボランティアセンターでプロから直にレクチャーを受けましょう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	筑後市社会福祉協議会にあるボランティアセンターでボランティアの計画を立てましょう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ボランティア体験をしよう。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	ボランティア体験をしよう。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	災害支援ボランティアとしてできることを事前に体験しよう。(非常食を食べよう。アウトドア料理体験)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	災害支援ボランティアとしてできることを事前に体験しよう。(非常食を食べよう。アウトドア料理体験)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学び I (地域連携)	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	森永牧子・河村陽子	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	おおたにカフェってなあに？	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	おおたにカフェってなあに？	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	A:5月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	A:5月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	A:6月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	A:6月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	A:7月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	A:7月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	地域の方と楽しく過ごすなかで、自分のこと、地域のことを好きになって下さい 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅠ（絵本）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	年齢別による絵本の選書についてや絵本の読み聞かせ実演指導。パネルシアターや紙芝居の実演指導。学びを深めるために、小学校などを訪問し児童たちの前で実演を行う。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居などを人前で発表し表現する力を身につける。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	絵本についての概論	予習：絵本について考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
2.	絵本の読み聞かせについて実技指導など	予習：絵本を読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
3.	絵本の読み聞かせについて実演①	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
4.	絵本の読み聞かせについて実演②	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
5.	パネルシアター、紙芝居の実演指導を行う①	予習：パネルシアター等について（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
6.	小学校へ実演するためのプログラム作成	予習：小学校へ実演するためのプログラムを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
7.	小学校などへ出向き実演する①	予習：実演の練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
8.	小学校などへ出向き実演する②	予習：実演の練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験、絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学び I (健康と福祉)	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	塚本真由美・中島 航	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション 健康ってどういうこと？まずは、セルフチェック	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	オリエンテーション 健康ってどういうこと？まずは、セルフチェック	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	セルフマネジメント(健康・体調・時間・感情・モチベーション、そしてお金も?)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	セルフマネジメント(健康・体調・時間・感情・モチベーション、そしてお金も?)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	今からフレイル予防に注目!〇〇で社会参加	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	今からフレイル予防に注目!〇〇で社会参加	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	地域サロンに参加しよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	地域サロンに参加しよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学び I (アンサンブル)	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	樋口光融	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	編成・選曲とプランニング。互いに楽器の演奏(短い楽曲やスケール、エチュードなど何でも可)を含む自己紹介を行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	編成・選曲とプランニング。互いに楽器の演奏(短い楽曲やスケール、エチュードなど何でも可)を含む自己紹介を行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	チームごとに共同して演奏を創ろう!メンバー間で互いの気持ちや状況に寄り添いながら、アンサンブルをつくり上げていきます。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	チームごとに共同して演奏を創ろう!メンバー間で互いの気持ちや状況に寄り添いながら、アンサンブルをつくり上げていきます。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ミニコンサートの計画とリハーサル。聴衆に楽しんでもらうアイデアも出し合いながら、リハーサルを行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	ミニコンサートの計画とリハーサル。聴衆に楽しんでもらうアイデアも出し合いながら、リハーサルを行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	ミニコンサート!地域の施設等に出向き、聴衆の前で演奏します。(施設等との調整状況によりオンライン実施の場合もあり)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	ミニコンサート!地域の施設等に出向き、聴衆の前で演奏します。(施設等との調整状況によりオンライン実施の場合もあり)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	ピアノ以外の楽器は原則各自で準備ください(貸出や保管場所については相談ください)。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学び I (仏教)	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	<p>各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。 本授業によって、基礎科目の学習成果(3)を得ることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。</p>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	念珠作りをしよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	念珠作りをしよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	写経をしてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	写経をしてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	お経を読んでみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	お経を読んでみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	法名を考えてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	法名を考えてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項			
質問・相談の受付			

科目	おおたにの学び I (声優)	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ことばはコミュニケーションの基礎。正しく伝えるためにことばを磨きます	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
2.	ことばはコミュニケーションの基礎。正しく伝えるためにことばを磨きます	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
3.	磨いたことばで表現をしてみよう。感情を音声に乗せる方法を学びます	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
4.	磨いたことばで表現をしてみよう。感情を音声に乗せる方法を学びます	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
5.	音声表現「ボイスドラマ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
6.	音声表現「ボイスドラマ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
7.	「アニメアフレコ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
8.	「アニメアフレコ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	台本を配布します		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	声を出す実技です。 担当者の実務経験:声優として出演作多数		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅠ（生涯スポーツ）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ガイダンス（生涯スポーツとは）・コミュニケーションゲーム	予習:生涯スポーツとは何か調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	グラウンドゴルフ	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	ペタンク（ポッチャ）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	モルック	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ボウリング（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	ボウリング（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	アイススケート（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	アイススケート（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし（必要に応じて資料を配布する）		
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項	学外演習では、1種目あたり1500円程度が別途必要となる 実際に屋内外にて身体を動かす場面があるため、体調管理には留意しておく		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける		

科 目	おおたにの学びⅠ（子ども体験）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	宮地あゆみ	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	子どもってどんな存在なのか学ぶ。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
2.	子どもと遊びの関係について学ぶ。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
3.	保育活動に参加するためのネームづくりをする。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
4.	保育活動に参加するためのネームづくりをする。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
5.	保育活動に参加するためのおもちゃづくりをする。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
6.	保育活動に参加するためのおもちゃづくりをする。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
7.	九州大谷幼稚園にて、保育の様子を見たり、実際に子どもと触れ合う経験をする。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
8.	九州大谷幼稚園にて、保育の様子を見たり、実際に子どもと触れ合う経験をする。	30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	『イラストで読む！幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK』無藤・汐見（著編）『保育・幼稚園教育・子ども家庭福祉辞典』中坪他		
学習成果の 評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき 事項	九州大谷幼稚園での体験は、短大から配布されている健康チェックを2週間前から必ずしてください。 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付	質問がある場合は、授業終了後もしくは研究室へ訪ねてきてください。 また、メールでの問い合わせも可能です。E-mail: miyadi@kyushuotani.online		

科目	おおたにの学び I (殺陣・アクション)	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	殺陣の基本1 柔軟・体幹トレーニング	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	殺陣の基本2 身体の軸を捉えて体さばきを行う	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	殺陣の基本3 素振りと型	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	殺陣の基本4 納刀抜刀	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	立ち回り1 手を覚えて相手と向き合う	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	立ち回り2 相手との距離感を捉える	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	立ち回り3 裏とかかりの役割	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	立ち回り4 実際にシーンを演じる中で殺陣を行う	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅠ（書道）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、ひらがな・漢字の楷書の練習。短い文章の練習。一筆箋の書き方の説明	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
2.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、ひらがな・漢字の楷書の練習。短い文章の練習。一筆箋の書き方の説明	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
3.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、漢字の楷書と行書の練習。筆順も確認。短い手紙文の練習。手紙の基本的な書き方の説明。	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
4.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、漢字の楷書と行書の練習。筆順も確認。短い手紙文の練習。手紙の基本的な書き方の説明。	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
5.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、履歴書の練習。筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。【弔辞・慶事】	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
6.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、履歴書の練習。筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。【弔辞・慶事】	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
7.	筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。暑中見舞いを書いてみましょう。最後に好きな言葉を作品にしてみよう。	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
8.	筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。暑中見舞いを書いてみましょう。最後に好きな言葉を作品にしてみよう。	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	テキストはコピーして配布します。		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50％）・レポート（50％）		
特記すべき事項	万年筆（パイロットカクノ）と書道道具を持参すること。無い方は筆ペン（呉竹8号）を準備すること。 担当者の実務経験：九州大谷短期大学非常勤講師38年・県立非常勤講師27年・九州芸文館アカデミー講師9年・春興書道教室主宰37年		
質問・相談等の受付			

科目	おたにの学びⅠ（セラピューティック・ケア）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	日本セラピューティック・ケア	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション、概論、学校教育用DVD・ふれあいDVD視聴 感染予防、首と肩の解剖生理学、相乗効果 ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
2.	オリエンテーション、概論、学校教育用DVD・ふれあいDVD視聴 感染予防、首と肩の解剖生理学、相乗効果 ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
3.	手と腕の解剖生理学、禁忌事項 ハンド&アームケア、ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
4.	手と腕の解剖生理学、禁忌事項 ハンド&アームケア、ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
5.	足と筋肉の解剖生理学、傾聴、施術者のテクニック ネック&ショルダーケア、ハンド&アームケア、レッグケア	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
6.	足と筋肉の解剖生理学、傾聴、施術者のテクニック ネック&ショルダーケア、ハンド&アームケア、レッグケア	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
7.	地域の方に癒しのひと時を	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
8.	地域の方に癒しのひと時を	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	セラピューティック・ケア改訂版		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項			
質問・相談の受付			

科目	おおたにの学び I (ミュージカルダンス)	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技術を身に付け、表情することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 音楽を聞いて音に合わせて身体を動かしてステップを踏んでみましょう。	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
2.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 音楽を聞いて音に合わせて身体を動かしてステップを踏んでみましょう。	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
3.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付A	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
4.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付A	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
5.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付B	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
6.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付B	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
7.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付B	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
8.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 成果発表	ストレッチ・姿勢確認 (60分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現 (50%)・レポート (50%)		
特記すべき事項	ダンス実技です。		
質問・相談等の受付	随時可		

科目	おおたにの学び I (手話)	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	竹下聡美	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、期末レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ろう者の日常を知る。手話の基礎を知る①(指文字とあいさつ)	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
2.	手話の基礎を知る②(自己紹介)	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
3.	音声言語とは異なる文法について学ぶ① 歌詞・フレーズを手話に変換	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
4.	音声言語とは異なる文法について学ぶ② 仏教讃歌「回向」	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
5.	音声言語とは異なる文法について学ぶ③ 歌詞・フレーズを手話に変換	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
6.	音声言語とは異なる文法について学ぶ④ 仏教讃歌「恩徳讃」	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
7.	ろう者と交流をはかる 仏教讃歌及び課題の発表	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
8.	ろう者と交流をはかる 仏教讃歌及び課題の発表	予習:事前課題に取り組む(30分) 復習:学習した内容を振り返る(3分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	授業ではマウスシールドを使用。(担当者が用意)		
質問・相談等の受付			

科 目	おおたにの学び I (造形表現)	開講時期 履修方法	1前期 生活の基礎
担当者	西村幸一郎	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、期末レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	オリエンテーション：造形技法の紹介	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
2.	オリエンテーション：造形技法の紹介	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
3.	制作の準備：材料やテーマ・モチーフの選択	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
4.	制作の準備：材料やテーマ・モチーフの選択	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
5.	制作①	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
6.	制作①	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
7.	制作②	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
8.	制作②	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振り返る (30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現 (50%) ・ 期末レポート (50%)		
特記すべき事項	初回は不要ですが、汚れてもよい服装等の準備をお願いする場合があります。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（ボランティア）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	中村秀一	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	そもそもボランティアとはなんだろう。プチボランティアのちょっとした優しさを知ろう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	災害ボランティアのための避難所見学と非難生活のために備蓄してある巨大倉庫の見学をしましょう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	筑後市社会福祉協議会にあるボランティアセンターでプロから直にレクチャーを受けましょう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	筑後市社会福祉協議会にあるボランティアセンターでボランティアの計画を立てましょう	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ボランティア体験をしよう。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	ボランティア体験をしよう。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	災害支援ボランティアとしてできることを事前に体験しよう。(非常食を食べよう。アウトドア料理体験)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	災害支援ボランティアとしてできることを事前に体験しよう。(非常食を食べよう。アウトドア料理体験)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（地域連携）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	森永牧子・河村陽子	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	おおたにカフェってなあに？	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	おおたにカフェってなあに？	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	A:5月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	A:5月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	A:6月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	A:6月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	A:7月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	A:7月のおおたにカフェをやってみよう B:出張カフェをやってみよう!!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	地域の方と楽しく過ごすなかで、自分のこと、地域のことを好きになって下さい 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（絵本）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	年齢別による絵本の選書についてや絵本の読み聞かせ実演指導。パネルシアターや紙芝居の実演指導。学びを深めるために、小学校などを訪問し児童たちの前で実演を行う。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居などを人前で発表し表現する力を身につける。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	絵本についての概論	予習：絵本について考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
2.	絵本の読み聞かせについて実技指導など	予習：絵本を読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
3.	絵本の読み聞かせについて実演①	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
4.	絵本の読み聞かせについて実演②	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
5.	パネルシアター、紙芝居の実演指導を行う①	予習：パネルシアター等について（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
6.	小学校へ実演するためのプログラム作成	予習：小学校へ実演するためのプログラムを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
7.	小学校などへ出向き実演する①	予習：実演の練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
8.	小学校などへ出向き実演する②	予習：実演の練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験、絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（健康と福祉）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	塚本真由美・中島 航	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション 健康ってどういうこと？まずは、セルフチェック	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	オリエンテーション 健康ってどういうこと？まずは、セルフチェック	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	セルフマネジメント(健康・体調・時間・感情・モチベーション、そしてお金も?)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	セルフマネジメント(健康・体調・時間・感情・モチベーション、そしてお金も?)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	今からフレイル予防に注目!〇〇で社会参加	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	今からフレイル予防に注目!〇〇で社会参加	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	地域サロンに参加しよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	地域サロンに参加しよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科 目	おおたにの学びⅡ（アンサンブル）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	樋口光融	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	編成・選曲とプランニング。互いに楽器の演奏（短い楽曲やスケール、エチュードなど何でも可）を含む自己紹介を行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	編成・選曲とプランニング。互いに楽器の演奏（短い楽曲やスケール、エチュードなど何でも可）を含む自己紹介を行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	チームごとに共同して演奏を創ろう！メンバー間で互いの気持ちや状況に寄り添いながら、アンサンブルをつくり上げていきます。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	チームごとに共同して演奏を創ろう！メンバー間で互いの気持ちや状況に寄り添いながら、アンサンブルをつくり上げていきます。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ミニコンサートの計画とリハーサル。聴衆に楽しんでもらうアイデアも出し合いながら、リハーサルを行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	ミニコンサートの計画とリハーサル。聴衆に楽しんでもらうアイデアも出し合いながら、リハーサルを行います。	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	ミニコンサート！地域の施設等に出向き、聴衆の前で演奏します。（施設等との調整状況によりオンライン実施の場合もあり）	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	ミニコンサート！地域の施設等に出向き、聴衆の前で演奏します。（施設等との調整状況によりオンライン実施の場合もあり）	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の 評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき 事項	ピアノ以外の楽器は原則各自で準備ください（貸出や保管場所については相談ください）。		
貸出・相談等 の受付			

科目	おおたにの学びⅡ (仏教)	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	<p>各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。 本授業によって、基礎科目の学習成果(3)を得ることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<p>「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。</p>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	念珠作りをしよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	念珠作りをしよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	写経をしてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	写経をしてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	お経を読んでみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	お経を読んでみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	法名を考えてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	法名を考えてみよう!	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科 目	おおたにの学びⅡ（声優）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	ことばはコミュニケーションの基礎。正しく伝えるためにことばを磨きます。	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
2.	ことばはコミュニケーションの基礎。正しく伝えるためにことばを磨きます。	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
3.	磨いたことばで表現をしてみよう。感情を音声に乗せる方法を学びます。	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
4.	磨いたことばで表現をしてみよう。感情を音声に乗せる方法を学びます。	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
5.	音声表現「ボイスドラマ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
6.	音声表現「ボイスドラマ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
7.	「アニメアフレコ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
8.	「アニメアフレコ」実践	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする (各30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	台本を配布します		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項	声を出す実技です。 担当者の実務経験：声優として出演作多数		
賞問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（生涯スポーツ）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ガイダンス（生涯スポーツとは）・コミュニケーションゲーム	復習:学習した内容を振り返る 予習:学習する内容を下調べする	
2.	グラウンドゴルフ	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	ペタンク（ポッチャ）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	モルック	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ボウリング（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	ボウリング（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	アイススケート（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	アイススケート（学外演習）	予習:種目について調べる(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし（必要に応じて資料を配布する）		
学習成果の評価方法	理解と表現（50％）・レポート（50％）		
特記すべき事項	学外演習では、1種目あたり1500円程度が別途必要となる 実際に屋内外にて身体を動かす場面があるため、体調管理には留意しておく		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける		

科目	おおたにの学びⅡ（子ども体験）		開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	宮地あゆみ		授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>			
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。			
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。			
	授業計画（授業内容）		授業時間外学習 予習・復習	
1.	子どもってどんな存在なのか学ぶ。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
2.	子どもと遊びの関係について学ぶ。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
3.	保育活動に参加するためのネームづくりをする。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
4.	保育活動に参加するためのネームづくりをする。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
5.	保育活動に参加するためのおもちゃづくりをする。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
6.	保育活動に参加するためのおもちゃづくりをする。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
7.	九州大谷幼稚園にて、保育の様子を見たり、実際に子どもと触れ合う経験をする。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
8.	九州大谷幼稚園にて、保育の様子を見たり、実際に子どもと触れ合う経験をする。		30分は、予習として次回講義の準備をする。30分は、振り返り課題に取り組む。	
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
教科書	なし			
参考書	『イラストで読む！幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK』無藤・汐見（著編）『保育・幼稚園教育・子ども家庭福祉辞典』中坪他			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）			
特記すべき事項	九州大谷幼稚園での体験は、短大から配布されている健康チェックを2週間前から必ずしてください。各授業において予習30分、復習30分を必要とする。			
質問・相談等の受付	質問がある場合は、授業終了後もしくは研究室へ訪ねてきてください。また、メールでの問い合わせも可能です。E-mail: mivadi@kyushuotani.online			

科目	おおたにの学びⅡ（殺陣・アクション）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ボディアクションの基本1 空手・型	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
2.	ボディアクションの基本2 キック・パンチの打ち方	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
3.	ボディアクションの基本3 受け身(前・横・後ろ)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
4.	ボディアクションの基本4 組み手(基礎)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
5.	ボディアクションの基本5 組み手(応用)	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
6.	体操基礎1 マット運動	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
7.	体操基礎2 側転・ハンドスプリング・バック転	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
8.	アクションをやりながら実際にシーンを演じる	予習:学習する内容を下調べする(30分) 復習:学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現(50%)・レポート(50%)		
特記すべき事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（書道）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、ひらがな・漢字の楷書の練習。短い文章の練習。一筆箋の書き方の説明	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
2.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、ひらがな・漢字の楷書の練習。短い文章の練習。一筆箋の書き方の説明	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
3.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、漢字の楷書と行書の練習。筆順も確認。短い手紙文の練習。手紙の基本的な書き方の説明。	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
4.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、漢字の楷書と行書の練習。筆順も確認。短い手紙文の練習。手紙の基本的な書き方の説明。	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
5.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、履歴書の練習。筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。【弔辞・慶事】	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
6.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、履歴書の練習。筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。【弔辞・慶事】	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
7.	筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。年賀状を書いてみましょう。最後に好きな言葉を作品にしてみよう。	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
8.	筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。年賀状を書いてみましょう。最後に好きな言葉を作品にしてみよう。	予習30分:学習する内容を下調べする 復習30分:学習した内容を振り返る	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	テキストはコピーして配布します。		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%） 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
特記すべき事項	万年筆（パイロットカクノ）と書道道具を持参すること。無い方は筆ペン（呉竹8号）を準備すること。 担当者の実務経験：九州大谷短期大学非常勤講師38年・県立非常勤講師27年・九州芸文館アカデミー講師9年・春興書道教室主宰37年		
貸出・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（セラピューティック・ケア）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	日本セラピューティック・ケア	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション、概論、学校教育用DVD・ふれあいDVD視聴 感染予防、首と肩の解剖生理学、相乗効果 ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
2.	オリエンテーション、概論、学校教育用DVD・ふれあいDVD視聴 感染予防、首と肩の解剖生理学、相乗効果 ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
3.	手と腕の解剖生理学、禁忌事項 ハンド&アームケア、ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
4.	手と腕の解剖生理学、禁忌事項 ハンド&アームケア、ネック&ショルダーケア（ビギナー）	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
5.	足と筋肉の解剖生理学、傾聴、施術者のテクニック ネック&ショルダーケア、ハンド&アームケア、レッグケア	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
6.	足と筋肉の解剖生理学、傾聴、施術者のテクニック ネック&ショルダーケア、ハンド&アームケア、レッグケア	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
7.	地域の方に癒しのひと時を	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
8.	地域の方に癒しのひと時を	予習30分：学習する内容を下調べする 復習30分：学習した内容を振り返る	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	セラピューティック・ケア改訂版		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（ミュージカルダンス）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実績することで基本的な知識技術を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 音楽を聞いて音に合わせて身体を動かしてステップを踏んでみましょう。	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
2.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 音楽を聞いて音に合わせて身体を動かしてステップを踏んでみましょう。	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
3.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付A	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
4.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付A	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
5.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付B	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
6.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付B	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
7.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 振付B	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
8.	身体づくり。身体癖を知り身体を緩め、ストレッチ、体幹トレーニング。 成果発表	ストレッチ・姿勢確認（60分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50％）・レポート（50％）		
特記すべき事項	ダンス実技です。		
質問・相談等の受付	随時可		

科目	おおたにの学びⅡ（手話）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、生活の基礎
担当者	竹下聡美	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、期末レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ろう者の日常を知る。手話の基礎を知る①（指文字とあいさつ）	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
2.	手話の基礎を知る②（自己紹介）	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
3.	音声言語とは異なる文法について学ぶ① 歌詞・フレーズを手話に変換	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
4.	音声言語とは異なる文法について学ぶ② 仏教讃歌「回向」	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
5.	音声言語とは異なる文法について学ぶ③ 歌詞・フレーズを手話に変換	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
6.	音声言語とは異なる文法について学ぶ④ 仏教讃歌「恩徳讃」	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
7.	ろう者と交流をはかる 仏教讃歌及び課題の発表	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
8.	ろう者と交流をはかる 仏教讃歌及び課題の発表	予習:事前課題に取り組む（30分） 復習:学習した内容を振り返る（3分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・レポート（50%）		
特記すべき事項	授業ではマウスシールドを使用。（担当者が用意）		
質問・相談等の受付			

科目	おおたにの学びⅡ（造形表現）	開講時期 履修方法	1後期 生活の基礎
担当者	西村幸一郎	授業形態 単位数	演習 0.5単位
授業概要	<p>本学独自の学び15コースを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学習成果の評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、期末レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション：造形技法の紹介	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
2.	オリエンテーション：造形技法の紹介	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
3.	制作の準備：材料やテーマ・モチーフの選択	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
4.	制作の準備：材料やテーマ・モチーフの選択	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
5.	制作①	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
6.	制作①	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
7.	制作②	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
8.	制作②	予習：学習する内容を下調べする（30分） 復習：学習した内容を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	理解と表現（50%）・期末レポート（50%）		
特記すべき事項	初回は不要ですが、汚れてもよい服装等の準備をお願いする場合があります。		
質問・相談の受付			

科目	情報処理 I	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	キーボード操作を段階的にトレーニングし、タッチタイピングをマスターする。 ネットワーク上のファイルとフォルダの管理とUSBへのバックアップを学ぶ。 ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作、および動画作成を演習を通じて学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	すべての授業で作成したデータを個人領域に保存した上で、指定のフォルダに提出できる。 現状のパソコン技能レベルを課題作成で客観的に把握するとともに、1段階上のレベルの演習でスキルアップに取り組むことができる。 テーマに沿った動画を作成できる。		
学習成果の評価基準	タッチタイピングの習熟度を測るために、定期的にタイピングソフトの成績表の印刷物をレポート提出とし評価する。 すべての授業で提出用フォルダに提出されたデータを、課題完成例と比較して評価をする。 総合評価し、総合評価が60%で合格(C判定以上)となる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション パソコン室のパソコンの使い方、タイプクイックの使い方	予習30分: タイピング練習 復習30分: タイピングソフトの使い方と練習	
2.	タイピングソフトでタイピングトレーニング 自分の新記録にトライ タイピングできるなら文書入力速度計測	予習60分: タイピング練習 復習60分: タイピング練習	
3.	ワード文書4級レベルでビジネス文書編集の基礎演習(1) PDFマニュアルとWord画面をモニタ画面に横並びで作業する	予習30分: タイピング練習 復習30分: 4級ビジネス文書編集	
4.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習(2) 練習課題「速度入力」と「ビジネス文書作成」にトライ	予習30分: タイピング練習 復習30分: ワードビジネス文書の表の作成	
5.	ワード文書3級2級1級レベルのビジネス文書編集の基礎演習(3) ワンランク上の文書作成のマニュアルに沿って文書を作成またはオリジナル作品	予習30分: タイピング練習 復習30分: 表入り文書作成	
6.	エクセル表計算4級レベルの基礎演習(1) 足し算・引き算・かけ算・わり算をマスター、表計算の合計と平均の演習	予習30分: タイピング練習 復習30分: 四則演算の数式の練習	
7.	エクセル表計算4級レベルの基礎演習(2) 表計算の合計と平均の演習	復習30分: 合計と平均の関数の練習 予習30分: タイピング練習	
8.	エクセル表計算3級レベルの基礎演習(3) 自分に合ったレベルを選択して作成またはオリジナル作品	予習30分: タイピング練習 復習30分: 集計表の作成	
9.	パワーポイントのプレゼンテーション4級レベルで演習(1) スライドの作成、図形、アニメーションの設定	予習30分: タイピング練習 復習30分: 3枚のスライド作成練習	
10.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習(2) スライドの作成、画像、表、アニメーションの設定	予習30分: アニメーション操作 復習30分: アニメーションの設定練習	
11.	パワーポイントで作りたいプレゼンテーション課題を演習(3) 共通のテーマでスライドのオリジナル作品づくり	予習30分: テーマについて調べる 復習30分: 図形、画像、表、動画、音の挿入練習	
12.	動画作成(1) ストーリー構成を文字列で表現する	予習30分: 動画作成の仕方を調べる 復習30分: 動画作成のストーリー	
13.	動画作成(2) ストーリーに必要な静止画・動画の検索と収集 著作権や肖像権について	予習30分: 静止画・動画の著作権や肖像権について調べる 復習30分: 素材を収集する	
14.	動画作成(3) より伝わる動画に編集と完成・身近な人に見てもらい再編集	予習30分: テーマに沿った動画を検索し視聴する 復習30分: 動画を見直して修正	
15.	動画作成と提出 動画の見直しと仕上げ 提出についての質疑応答	予習30分: 動画提出について不明点を書き出しておく 復習30分: 振り返り	
教科書	購入する教科書はなし タイプクイック USB版 2,750円		
参考書	日本情報処理検定協会のサイトを活用します。		
学習成果の評価方法	授業態度(10%) 課題提出(70%) コミュニケーション(報告・連絡・相談)(20%)		
特記すべき事項	個々人の習熟度に合わせて個別に対応します。 パソコンの習熟度を就職活動などで証明したいなら資格試験も実施可能(7月)ですから早目に即講師に相談してください。		
質問・相談等の受付	授業期間は、授業時間外でもいつも受け付けます。		

科目	情報処理 I (情報司書フィールド)	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチタイピングの習得、ビジネス文書の構成要素、電子メールの書き方の基本、ビジネス図解の基本を学ぶ。 ・Wordの画面構成、基本機能を習得し、基本的なビジネス文書の作成と表や図形の活用を習得する。 ・本授業は、基礎科目の学習成果 (2) に対応する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本商工会議所の日商PC検定「文書作成」3級の全員の合格を達成し、必要に応じて効率よくビジネス文書を作成できる。 ・伝えたい内容を受け取る人にわかりやすい表現を工夫して文書作成ができる。 ・仕事に必要なパソコンやネットワークについて用語を理解して対話ができる。 		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングの習熟度を測るために、定期的にタッチタイピング進捗記録のレポート提出で評価する。 ・到達目標の達成度を測るために、授業内課題のデータ提出の完成度により評価する。 ・教科書巻末の模擬試験問題で60%以上の解答により評価する。 ・本試験は、知識試験が15分、実技試験が30分となっており、実技、知識共に70%以上の正解率で合格となる。 		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ガイダンス・アンケート・パソコン室の使い方と成績評価について 日商PC検定試験「文書作成」について タイピングソフトの紹介	予習60分：日本商工会議所の文書作成検定を調べる 復習60分：タイピング練習	
2.	タイピングの基礎 タイピングソフトの練習の進め方	予習30分：ビジネス文書の単元を読む 復習30分：タイピング練習	
3.	Wordの基礎知識 1 画面構成 キーボードとマウス	予習30分：ビジネス文書のライティング技術を読む 復習30分：タイピング練習	
4.	電子メール 1 ビジネス電子メールのマナー 電子メールの送受信	予習30分：電子メールの基本を読む 復習30分：確認問題を解く	
5.	電子メール 2 メールの送受信と添付ファイルについて	予習30分：電子メールの文例とポイントを読む 復習30分：確認問題を解く	
6.	インターネットでビジネス図解を検索 マトリックス型図解、フローチャートなど	予習30分：ビジネス図解の基本を読む 復習30分：確認問題を解く	
7.	ファイルとフォルダ 教材の配布	予習30分：ビジネス文書の管理を読む 復習30分：ファイルの保存、移	
8.	タッチタイピング習熟度評価 Wordの概要	予習30分：基本的なビジネス文書の作成を読む 復習30分：タイピング練習	
9.	ビジネス文書の作成 1 文字入力・編集と書式設定	予習30分：Wordの画面構成の確認 復習30分：文字入力と書式設定	
10.	ビジネス文書の作成 2 フォントと段落の書式設定	予習30分：フォント・段落の書式設定 復習30分：確認問題を解く	
11.	表のあるビジネス文書の作成 1 表の挿入、編集	予習30分：ビジネス文書の作成 (前半) を読む 復習30分：「研修実施報告書」の	
12.	表のあるビジネス文書の作成 2 表のセル内の文字配置と表の書式設定	予習30分：表のあるビジネス文書の作成 (後半) を読む 復習30分：確認問題を解く	
13.	図形のあるビジネス文書の作成 図形とテキストボックス	予習30分：図形のあるビジネス文書の作成を読む 復習30分：確認問題を解く	
14.	ビジネス文書の作成 知識と技能のおさらい	予習30分：第1回模擬試験問題 (知識) を解く 復習30分：上記試験問題 (実技)	
15.	まとめ 日商PC検定試験「文書作成」模擬試験課題	予習30分：第2回模擬試験問題を解く 復習30分：第3回模擬試験問題を	
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 : FOM出版 ・よくわかるマスター改訂版 日商PC検定試験 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成 3級 知識科目 公式問題集 : FOM出版 		
参考書	講師の解説用データを適宜提示する。		
学習成果の評価方法	受講態度 (20%) 授業内課題 (40%) 模擬問題 (40%)		
特記すべき事項	日商PC文書作成3級教科書2冊の内容を理解して解答できるようになることです。公式ガイドブックのみで傾向と対策をしっかりと把握できます。		
質問・相談等の受付	授業期間は、授業時間前後でもいつでも受け付けます。		

科目	情報処理 I (幼児教育学科)	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	キーボード操作を段階的にトレーニングし、タッチタイピングをマスターする。 ネットワーク上のファイルとフォルダの管理とUSBへのバックアップを学ぶ。 ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作、および動画作成を演習を通じて学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	タッチタイピングの10段階のステップを15回の講義で完了する。 すべての授業で作成したデータを個人領域に保存した上で、指定のフォルダに提出できる。 現状の自己レベルを課題作成で客観的に把握するとともに、1段階上のレベルの演習でスキルアップに取り組める。		
学習成果の 評価基準	タッチタイピングの習熟度を測るために、定期的にタイピングソフトの成績表の印刷物をレポート提出とし評価する。 すべての授業で提出用フォルダに提出されたデータを、課題完成例と比較して評価をする。 総合評価し、総合評価が60%で合格(C判定以上)となる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション パソコン室のパソコンの使い方、タイプクイックの使い方	予習30分: タイピング練習 復習30分: Typequickの使い方と練習	
2.	Typequickアプリでタイピングトレーニング 自分の新記録にトライ タイピングできるなら文書入力速度計測	予習60分: タイピング練習 復習60分: タイピング練習	
3.	ワード文書4級レベルでビジネス文書編集の基礎演習(1) PDFマニュアルとWord画面をモニタ画面に横並びで作業する	予習30分: タイピング練習 復習30分: 4級ビジネス文書編集	
4.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習(2) 練習課題「速度入力」と「ビジネス文書作成」にトライ	予習30分: タイピング練習 復習30分: ワードビジネス文書の素の作成	
5.	ワード文書3級2級1級レベルのビジネス文書編集の基礎演習(3) ワンランク上の文書作成のマニュアルに沿って文書を作成またはオリジナル作品	予習30分: タイピング練習 復習30分: 表入り文書作成	
6.	エクセル表計算4級レベルの基礎演習(1) 足し算・引き算・かけ算・わり算をマスター、表計算の合計と平均の演習	予習30分: タイピング練習 復習30分: 四則演算の数式の練習	
7.	エクセル表計算4級レベルの基礎演習(2) 表計算の合計と平均の演習	予習30分: 合計と平均の関数の練習 復習30分: タイピング練習	
8.	エクセル表計算3級レベルの基礎演習(3) 自分に合ったレベルを選択して作成またはオリジナル作品	予習30分: タイピング練習 復習30分: 集計表の作成	
9.	パワーポイントのプレゼンテーション4級レベルで演習(1) スライドの作成、図形、アニメーションの設定	予習30分: タイピング練習 復習30分: 3枚のスライド作成練習	
10.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習(2) スライドの作成、画像、表、アニメーションの設定	予習30分: アニメーション操作 復習30分: アニメーションの設定練習	
11.	パワーポイントで作りたいプレゼンテーション課題を演習(3) 共通のテーマでスライドのオリジナル作品づくり	予習30分: テーマについて調べる 復習30分: 図形、画像、表、動画、音の挿入練習	
12.	動画作成(1) ストーリー構成を文字列で表現する	予習30分: 動画作成の仕方を調べる 復習30分: 動画作成のストーリー	
13.	動画作成(2) ストーリーに必要な静止画・動画の検索と収集 著作権や肖像権について	予習30分: 静止画・動画の著作権や肖像権について調べる 復習30分: 素材を収集する	
14.	動画作成(3) より伝わる動画に編集と完成・身近な人に見てもらい再編集	予習30分: テーマに沿った動画を検索し視聴する 復習30分: 動画を見直して修正	
15.	動画作成と提出 動画の見直しと仕上げ 提出についての質疑応答	予習30分: 動画提出について不明点を書き出しておく 復習30分: 振り返り	
教科書	購入する教科書はなし タイプクイックUSB版(2,750円)		
参考書	日本情報処理検定協会のサイトを活用します。		
学習成果の 評価方法	授業態度(10%) データとレポートの提出(70%) コミュニケーション(報告・連絡・相談)(20%)		
特記すべき 事項	個々人の習熟度に合わせて個別に対応します。 パソコンの習熟度を就職活動などで証明したいなら資格試験も実施可能(7月)ですから早目に即講師に相談してください。		
質問・相談等 の受付	授業期間は、授業時間外でもいつも受け付けます。		

科 目	情報処理Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> Wordの応用操作、様々なビジネス文書・デザイン文書の編集の効率化を学ぶ。 Excelの応用操作、表計算とデータベース機能、グラフなど、より効率的なショートカットキーの操作等を学ぶ。 PowerPointの応用操作、求められる成果物についてマニュアルをしっかりと反映したデータの作り方を学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Wordで限られた時間内にビジネス文書やデザイン文書を効率のよいキー操作を使って作成できる。 Excelの数式と関数、グラフ、データベース機能をより効率の良い方法で処理できる。 PowerPointのプレゼンテーション用スライド作成の操作をマスターし、実務に活用できる応用操作ができる。 		
学習成果の 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> タイピングの習熟度を測るために、定期的にタッチタイピング進捗記録のレポート提出で評価する。 到達目標の達成度を測るために、授業内課題のデータ提出の完成度により評価する。 総合評価し、総合評価が60%で合格(C判定以上)となる。 資格本試験の場合、80%以上の評価で合格となる。 		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	Word日本語ワープロ文書課題(1) ビジネス文書：様々な表、切り取り線の作成	予習30分：タイピング練習 復習30分：文字入力と書式設定を練習	
2.	Word文書デザイン課題(2) ビジネス文書：図式、画像の挿入、地図の作成	予習30分：操作手順を確認しておく 復習30分：図式、画像の挿入、地図の作成を練習	
3.	Excel四則演算課題(1) 表計算機能で身近な集計表の作成	予習30分：足算・引算・乗算・除算の式の入力 復習30分：演習課題を反復練習	
4.	Excel数式と関数課題(2) 表計算・データベース機能を使った表の作成	予習30分：5つの関数挿入 復習30分：データベース機能を含む課題を解く	
5.	Excel関数応用とグラフ(3) 表計算で高度な関数とグラフの作成	予習30分：グラフの挿入の手順を確認しておく 復習30分：高度な関数を含む課題	
6.	PowerPointプレゼンテーション(1) スライドの作成・背景色・画面切り替え	予習30分：2枚程度の簡単なスライド作成を練習 復習30分：簡単なスライド作成課題を解く	
7.	PowerPointプレゼンテーション(2) スライド上のオブジェクト作成とアニメーション	予習30分：アニメーションの設定 復習30分：アニメーションを含む課題を解く	
8.	PowerPointプレゼンテーション(3) 表・グラフ・図式など情報量が多いスライドの作成	予習30分：表・グラフ機能の操作手順を確認しておく 復習30分：情報量が多い課題を練習	
9.	Word・Excel・PowerPoint情報処理(1) 新しい課題を時間内に仕上げる事を目標に計測し、質疑応答で弱点補強する。	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：時間内にできなかった課題をしあげる	
10.	Word・Excel・PowerPoint情報処理(2) 異なる課題を時間内に仕上げる事を目標に計測する。 ポイントレッスンで弱点補強。	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：ポイントレッスンを再度練習	
11.	Word・Excel・PowerPoint情報処理(3) ワンランク上の課題を仕上げる事を目標に演習。 実務で必要となるキーボード操作。	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：ショートカットキーが身に付くまで練習	
12.	情報処理実践(1) 目標とするレベルの新たな課題を選択して模擬試験	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：1度解いた課題をもう1度解く	
13.	情報処理実践(2) 目標とするレベルの新たな課題を選択して模擬試験	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：1度解いた課題をもう1度解く	
14.	情報処理実践(3) 目標とするレベルの新たな課題を選択して模擬試験	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：1度解いた課題をもう1度解く	
15.	情報処理実践のまとめ 資格取得を目指して各自選択した課題を解く Word・Excel・PowerPointのデータの利活用について	予習30分：タッチタイピング練習 復習30分：実務者への疑問があれば書き出して講師へ質問	
教科書	<ul style="list-style-type: none"> タイピング練習に、タイプクイック または ミカタイプを使用 日本情報処理検定Web上課題 		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(20%) レポート提出(40%) 授業内課題(40%)		
特記すべき 事項	個々人の習熟度に合わせて個別に対応します。 就職活動などで活用したいなら資格試験も実施可能(12月)ですから早目に即講師に相談してください。(任意)		
質問・相談の 受付	授業期間中は、授業時間の前後でも受け付けます。		

科目	情報処理Ⅱ（情報司書フィールド）	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチタイピングのスキルアップ、ビジネス文書の作成と編集、パソコンやネットワーク等の知識を学ぶ。 ・Wordによって基本的なビジネス文書の作成と編集をいかに効率良く行うかを学ぶ。 ・本授業は、基礎科目の学習成果（2）に対応する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本商工会議所の日商PC検定「文書作成」3級の全員の合格を達成し、必要に応じて効率よくビジネス文書を作成できる。 ・企業実務に必要とされる基本的なIT・ネットワークの知識、スキルを身につけ、業務に利活用することができる。 		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングの習熟度を測るために、定期的タッチタイピング進捗記録のレポート提出で評価する。 ・到達目標の達成度を測るために、授業内課題のデータ提出の完成度により評価する。 ・本試験は、知識試験が15分、実技試験が30分となっており、実技、知識共に70%以上の正解率で合格となる。 		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	文字入力スピードと正確さを確認 情報処理各分野に「共通」の知識 ・ハードウェア・ソフトウェア、ネットワーク	予習30分：タイプクイックの記録 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
2.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・ネット社会における企業実務、ビジネススタイル	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
3.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・電子データ、電子コミュニケーションの特徴と留意点	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
4.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・デジタル情報、電子化資料の整理・管理	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
5.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・電子メール、ホームページの特徴と仕組み	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
6.	情報処理各分野に「共通」の知識 ・情報セキュリティ、コンプライアンスに関する基本的な知識	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
7.	「文書作成」3級レベルの知識 ・社内、社外文書の種類と雛型 ・文書管理（ファイリング、共有化、再利用）	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
8.	「文書作成」3級レベルの知識 ・ビジネス文書作成上の日本語力（文法、表現法、他） ・文書表現、文書校正の基本、文書関連のビジネスマナー	予習30分：知識問題の不明点を書き出す 復習30分：授業で解いた問題の解説を読み再解答	
9.	模擬試験演習 1 ・知識問題「共通」全問解答練習 ・知識問題「文書作成」全問解答練習	予習30分：知識問題の不明点を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
10.	模擬試験演習 2 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
11.	模擬試験演習 3 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
12.	模擬試験演習 4 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
13.	模擬試験演習 5 アンケート調査 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
14.	模擬試験演習 6 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
15.	模擬試験演習 7 ・知識：不正解問題の解説 ・実技：時間計測と質疑応答、ポイントレッスン	予習30分：不正解問題を調べる 復習30分：授業での不正解問題の解説を読み再解答	
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 : FOM出版 ・よくわかるマスター 改訂版 日商PC検定試験 文書作成・データ活用・プレゼン資料作成 3級 知識科目 公式問題集 : FOM出版 		
参考書	特になし		
学習成果の評価方法	講態度（20%） 授業内課題（40%） 模擬問題（40%）		
特記すべき事項	タイピングは日々自分自身で記録し習熟度を把握し更に記録を伸ばすこと。知識問題も、実技問題も、教科書を繰り返し解くことで合格に繋がる。		
質問・相談の受付	授業期間中は、授業時間の前後でも受け付けます。		

科 目	華道 I	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子・堤 貞子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	自由花・盛花の基本 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	池坊協教授3級の取得を目指す 入門・初伝		
学習成果の 評価基準	自由花・成果の基本の修得を測るため、授業内課題で評価し、授業のまとめとして到達度を測り評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	生け花を始める心構え		
2.	生け花の特性	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
3.	盛花の基本的な生け花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
4.	盛花の基本的な生け花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
5.	盛花の基本的な生け花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
6.	盛花の基本的な生け花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
7.	自由花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
8.	自由花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
9.	盛花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
10.	盛花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
11.	自由花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
12.	生花の基本的な生け花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
13.	生花の基本的な生け花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
14.	盛花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
15.	自由花・まとめ	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
教科書	池坊花伝書		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(10%) 授業内課題(50%) その他【まとめ】(40%)		
特記すべき 事項	欠の準備		
質問・相談等 の受け			

科 目	華道Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子・堤 貞子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	生花の基本的ないけ方 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	池坊協教授3級の取得を目指す 中伝		
学習成果の 評価基準	自由花・生花の基本の修得を測るため、授業内課題で評価し、授業のまとめとして到達度を測り評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	生花		
2.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
3.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
4.	盛花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
5.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
6.	自由花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
7.	盛花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
8.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
9.	自由花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
10.	盛花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
11.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
12.	自由花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
13.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
14.	生花	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
15.	生花・まとめ	池坊花伝書を読む(予習30分) 自宅で生け直す(復習30分)	
教科書	池坊花伝書		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(10%) 授業内課題(50%) その他【まとめ】(40%)		
特記すべき 事項	録の準備		
質問・相談等 の受け			

科 目	英語 I	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ペアとグループワークで英会話を練習、発音ドリルとクイズ、英語の歌、Workbook、と読書ジャーナルを使って、学生の英語の実力をレベルアップします。 本授業は基礎科目の学習成果 (1) に対応する。		
到達目標	単語と文法を復習しながら、英語の日常聞き取りと会話に慣れる。自分の思いと意見を英語で書ける。		
学習成果の 評価基準	Workbookとプリント課題への取り組みを評価基準とします。毎授業毎に提出してください。 なお、課題とする新聞読書ジャーナルへの取り組みも評価基準となります。 成績評価方法の詳細については、1回目の授業時に説明します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	クラスの紹介、英語発音の紹介、ローマ字の復習ABC Song、Unit 1 (1)、名前の使い方、発音クイズ紹介	英語発音ドリルP3、4; Unit 1(1)の会話の音読練習(予習:30分)	
2.	Front 母音、ABC Song、発音聞き取り診断試験、音/つづりルール、Unit 1(2, 3, 4B, 5)	英語発音ドリルP9ドリル1、Unit 1 (4)音読練習(予習:30分)	
3.	発音練習、発音クイズ、If You're Happy, Unit 1(6, 7, 8)	Unit 1 (7, 8)音読練習, Workbook Unit 1(予習:30分)	
4.	発音練習、発音クイズ、If You're Happy, Unit 1(9, 11, 12, 14)	音読練習、Workbook Unit 1(3, 4)(予習:30分)	
5.	発音練習、発音クイズ、Rounded母音紹介、She' ll be Coming, Unit 2 (1, 2, 3, 4)	音読練習、Workbook Unit 1(6, 7, 8, 9)(予習:30分)	
6.	発音練習、発音クイズ、She' ll be Coming, Unit 2 (5, 6, 7, 8)	音読練習、Workbook Unit 2(1, 3, 4)((予習:30分)	
7.	発音練習、発音クイズ、「あ」の関係の母音、前項 (9, 10, 11, Interchange 2)	単語の音読練習、Workbook Unit 2(1, 3, 4)(予習:30分)	
8.	発音練習、発音クイズ、She' ll be Coming, Unit 3 (2, 3, 4)	音読練習、Workbook Unit 2(5, 6, 8, 9)(予習:30分)	
9.	発音練習、発音クイズ、Clementine, Unit 3 (5, 6, 7, 8)	音読練習、Workbook Unit 3(1, 2, 4)((予習:30分)	
10.	発音練習、発音クイズ、Clementine, Unit 3 (9, 10), Unit 4 (1, 2, 3)	英語発音、Workbook Unit 3(5, 6, 7)(予習:30分)	
11.	発音練習、発音クイズ、Clementine, Unit 4 (4, 5, 6)	英語発音ドリルP9ドリル(1-5)、音読練習、Workbook(予習:30分)	
12.	発音練習、発音クイズ、I've Been Working, Unit 4 (7, 8, 9)	英語発音ドリルP9ドリル(1-5)、音読練習、Workbook(予習:30分)	
13.	発音練習、発音クイズ、I've Been Working, Unit 5 (1, 2, 3, 4)	英語発音ドリルP9ドリル(1-5)、音読練習、Workbook(予習:30分)	
14.	発音練習、発音クイズ、I've Been Working, Unit 5 (5, 7, 8)	英語発音ドリルP9ドリル(1-5)、音読練習、Workbook(予習:30分)	
15.	発音聞き取り試験、インタビュー試験のスキプットの説明と試験練習し方	英語発音ドリルP9ドリル(1-5)、Workbook(予習:30分)	
教科書	Interchange Intro., 5th Ed. StudentとWorkbook、英語発音ドリル、Songs for English Pronunciation		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業活躍報告 (10%) 聞き取りクイズ (10%) Workbook (20%) 定期試験 (50%) 新聞読書ジャーナル (10%)		
特記すべき 事項	定期試験はマンツーマンで会話問題で行います。合図はフラッシュカードです。採点は学生の台詞が意味と文法が合うことです 各授業では新聞読書ジャーナルへの取り組みしてください。(復習:30分)		
質問・相談等 の受付			

科 目	英語 I (幼児教育学科)	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	保育関係の単語、幼児指導と親に触れ合い関係の文法を数々の形で学んだり、練習したりしてもらいます。特別な課題は英語の幼児用の歌練習、「Mother Goose Rhymes」の音読練習、英語の絵本の選び方と英語の絵本の読み聞かせ方法です。英語で自分の意見の通信は記事読書ジャーナルを書きながら、練習します。 本授業は基礎科目の学習成果 (1) に対応する。		
到達目標	保育に役に立つ英語を全面的にレベルアップする。		
学習成果の 評価基準	毎時間ごとに課す宿題を評価対象とします。必ず提出してください。 その他、個人インタビューによる会話表現、読書ジャーナルの提出を評価します。 詳細については、1回目の授業時に説明します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	コース紹介、歌、と絵本調べ、授業反省文書と読書ジャーナルの説明、インタビューの会話と説明、インタビューの予約取り	B5ノート2冊とA4, 40ポケットファイルの準備 (予習: 30分)	
2.	マンツーマンインタビューそれぞれ3回あります。「紹介」、「yes/no」、と「うたかMother Goose」。	予約を取って、それぞれの内容の音読練習 (予習: 30分)	
3.	草書体のルール、歌、インタビューの予約取りの続き、ジャーナルの書き方の注意、「疑問形復習」、「yes/no質問練習」	歌練習、教科書15~18を読む。(予習: 30分)	
4.	歌、Nursery Rhymes、絵本調べの確認、会話、単語: 英語の名前の使い方	教科書20、23-4を読む。(予習: 30分)	
5.	歌、Nursery Rhymes、単語: 数字と時間読み、会話、英作	歌練習、教科書26~27を読む。(予習: 30分)	
6.	歌、Nursery Rhymes、会話と英作、単語: 所関係の前置詞	教科書29~32を予習する。(予習: 30分)	
7.	歌と先生用踊り、Nursery Rhymes、会話、会話問題説明、英作、単語: 大きな数	教科書34~37を予習する。(予習: 30分)	
8.	歌と幼児用踊り、Nursery Rhymes、文法と単語: 所の前置詞と「there」形、会話と英作	歌と踊り練習、教科書39と40を読む。(予習: 30分)	
9.	歌、Nursery Rhymes、文法、英作、と単語: 道案内	教科書34~37を予習する。(予習: 30分)	
10.	歌、Nursery Rhymes、会話と英作2つ、文法: 「looks」と「sounds」	歌練習、教科書46と49を読む。(予習: 30分)	
11.	歌、Nursery Rhymes、会話と英作	歌練習、教科書53-4と57を読む。(予習: 30分)	
12.	歌、Nursery Rhymes、会話、英作、単語	歌練習、教科書63~68を予習する。(予習: 30分)	
13.	歌、Nursery Rhymes、会話、文法、宿題の説目と書き方練習	歌練習、教科書71-2を予習する。(予習: 30分)	
14.	歌とその踊り、Nursery Rhymes、文法、会話、と英作	歌練習、教科書77を予習する。(予習: 30分)	
15.	歌、単位の取り方の確認、試験範囲の説明	宿題などのプリントを整理して、授業に持ってくる。(予習: 30分)	
教科書	「A Garden of Children」、Clearbook 40 ポケット (くぼりもののため)、「English Songbook」、(和英辞典 またはスマホに訳すサイトのブックマークがいます。)		
参考書			
学習成果の 評価方法	クラスノート=10%、個人インタビュー=15%、読書ジャーナル=10%、絵本調べ=15%、宿題 (テキスト復習等) =15%、定期試験=35%		
特記すべき 事項	各授業において授業の振り返り (復習: 30分) をおこなうこと		
質問・相談等 の受付			

科目	英語Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	ペンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ペアとグループワークで英会話を練習、発音ドリルとクイズ、英語の歌、Workbook、と読書ジャーナルを使って、学生の英語の実力をレベルアップします。 本授業は基礎科目の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	単語と文法を復習しながら、英語の日常聞き取りと会話に慣れる。自分の思いと意見を英語で書ける。		
学習成果の 評価基準	Workbookとプリント課題への取り組みを評価基準とします。毎授業毎に提出してください。 なお、課題とする新聞読書ジャーナルへの取り組みも評価基準となります。 成績評価方法の詳細については、1回目の授業時に説明します。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	シラバスの確認、発音聞き取り診断試験、二重母音紹介、Old MacDonald, Unit 6 (1, 2, 3, 4)	意味を調べる。(30分) 母音の復習英語発音、音読練習(復習30分)	
2.	発音練習、発音クイズ、Old MacDonald, Unit 6 (6, 7, 8)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
3.	発音練習、発音クイズ、Old MacDonald, Unit 7 (1, 2, 3, 4, 5)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
4.	発音練習、発音クイズ、母音+“R”の紹介、Old MacDonald, Unit 7 (6, 7, 10, 11)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
5.	発音練習、発音クイズ、De Camptown Races, Unit 8 (1, 2)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
6.	発音練習、発音クイズ、De Camptown Races, Unit 8 (3, 4, 6)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
7.	発音練習、発音クイズ、De Camptown Races, Unit 8 (7, 8, 9, 11)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
8.	発音練習、発音クイズ、De Camptown Races, Unit 9 (1, 2, 3, 5)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
9.	発音練習、発音クイズ、二重母音+“R”の紹介、Down in the Valley, Unit 9 (6, 7, 8, 9)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
10.	発音練習、発音クイズ、De Camptown Races, Unit 10 (1, 2, 3, 4)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
11.	発音練習、発音クイズ、De Camptown Races, Unit 10 (5, 6, 7, 9, 10)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
12.	発音練習、発音クイズ、Goin' down to Town, Unit 11 (2, 3, 5, 8, 9)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
13.	発音練習、発音クイズ、Goin' down to Town, Unit 12 (1, 2, 3, 4)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
14.	発音練習、発音クイズ、Pop! Goes the Weasel, Unit 14 (1, 2, 3, 5)	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
15.	発音聞き取り試験、Pop! Goes the Weasel, Unit 14 (7, 8, 9, 10)、インタビュー試験の説明	意味を調べる。(30分) 英語発音、音読練習(復習30分)	
教科書	New Interchange 1, 5th Ed. StudentとWorkbook、英語発音ドリル、Songs for English Pronunciation		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業活躍報告(10%) 聞き取りクイズ(10%) Workbookとプリント課題(20%) 定期試験(50%) 新聞読書ジャーナル(10%) 成績評価方法の詳細については、1回目の授業時に説明します。		
特記すべき 事項	定期試験はマンツーマンで会話問題で行います。合図はフラッシュカードです。採点は学生の台詞が意味と文法が合うことです。		
質問・相談等 の受付			

科 目	英語Ⅱ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	保育関係の単語、幼児指導と親に触れ合い関係の文法を数々の形で学んだり、練習したりしてもらいます。特別な課題は英語の幼児用の歌練習、英語の絵本の選び方、と英語の絵本の読み聞かせ方法です。英語で自分の意見の通信は記事読書ジャーナルを書きながら、練習します。 本授業は基礎科目の学習成果(1)に対応する。		
到達目標	保育に役にたつ英語を全面的にレベルアップする。		
学習成果の評価基準	毎時間ごとに課す宿題を評価対象とします。必ず提出してください。 その他、個人インタビューによる会話表現、読書ジャーナルの提出を評価します。 詳細については、1回目の授業時に説明します。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	英語II紹介、歌、絵本読み聞かせの課題の説明、前期復習課題説明	後期のジャーナルボーナス、前期中練習（音読）（予習:30分）	
2.	歌と単語、会話、文法と英作、宿題の説明、絵本読み聞かせの予約取りが始める。	歌練習、絵本の希望リストを提出してくる。（予習:30分）	
3.	絵本読み聞かせ発表、指定された期間に受けなかったら、遅れ、12月末まで合格必要、受け直しを何回もかまいません。	決めた英語の絵本の内容の準備と発表練習（予習:30分）	
4.	歌、文法、会話、英作	歌練習、教科書を予習する。（予習:30分）	
5.	歌、会話と英作2つ、単語	歌練習、教科書を予習する。（予習:30分）	
6.	歌、文法、会話、英作	教科書を予習する。（予習:30分）	
7.	歌、会話、単語	歌練習、前期の幼児語メモを復習、教科書を予習（予習:30分）	
8.	歌、会話、英作、と単語	教科書を予習する。（予習:30分）	
9.	歌と遊び説明、会話と英作2つ	歌練習、疑問文法「have」復習と教科書を予習する。（予習:30分）	
10.	歌、文法、会話、単語、英作2つ	教科書を予習する。（予習:30分）	
11.	歌、文法、会話、宿題の説明	教科書を予習する。（予習:30分）	
12.	歌と遊びの説明、会話と英作、文法と単語、宿題の説明	「English Songbook」24ページと教科書を予習する。（予習:30分）	
13.	歌、会話、読み理解の説明、練習、とその宿題の説明	教科書を予習する。（予習:30分）	
14.	歌、聞き取り練習（定期試験に向かって）	読み理解内容を復習する。（予習:30分）	
15.	歌、会話、試験範囲説明	歌練習、教科書を予習する。（予習:30分）	
教科書	「A Garden of Children」、Clearbook 40 ポケット（くばりもののため）、「Songs for English Pronunciation」		
参考書	和英辞典またはスマホに訳すサイトのブックマークはお勧め		
学習成果の評価方法	クラスノート=10%、読書ジャーナル=10%、絵本読み聞かせ=35%、宿題（テキスト復習等）=15%、定期試験=30%		
特記すべき事項	各コマにおいて授業のふりかえりを行うこと（復習30分）		
質問・相談等の受付			

科目	保健体育	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足や、爽快感、達成感、他者との連帯感等、精神的な充足、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図るための理論を中心に学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	自己の身体や体力・運動能力の状況を知り、生涯を通じて主体的かつ継続的な運動・スポーツを実践あるいは支援することに結び付けられるようになる(知識)。また、運動やスポーツを通して身に付けた応用力をこれからの社会生活に活用することができる(技能)。		
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度(主体性やグループワークなど)、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション(授業内容についての説明)	予習: シラバスを読み授業準備をする(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
2.	身体活動・運動・(保健)体育・(競技・生涯・障害)スポーツとは	予習: 用語の違いについて考える(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
3.	屋外で身体を動かす意義とは	予習: 屋外運動の意義について考える(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
4.	体力・運動能力について①(理論)	予習: 体力・運動能力の要素について調べる(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
5.	体力・運動能力について②(実践)	予習: 体力・運動能力の要素について調べる(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
6.	体力・運動能力について③(測定結果の振り返り)	予習: 自己の身体について考える(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
7.	継続的な身体活動について	予習: これからの生活について考える(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
8.	季節に応じた運動と安全管理について	予習: 安全管理と処置について考える(30分) 復習: 本時の内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	使用しない		
参考書	適宜、資料等を配布する		
学習成果の評価方法	受講態度(40%)、授業内課題(30%)、小テストおよびレポート(30%) レポート等は、フィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき事項	授業内容は状況に応じて変更する場合があります 前期「体育実技」も併せて履修することを推奨。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける		

科目	保健体育（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛・橋本真理子	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足や、爽快感、達成感、他者との連帯感等、精神的な充足、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図るための理論を中心に学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	自己の身体や体力・運動能力の状況を知り、生涯を通じて主体的かつ継続的な運動・スポーツを実践あるいは支援することに結び付けられるようになる（知識）。また、運動やスポーツを通して身に付けた応用力をこれからの社会生活に活用することができる（技能）。		
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）	予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
2.	身体活動・運動・（保健）体育・（競技・生涯・障害）スポーツとは	予習：用語の違いについて考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
3.	屋外で身体を動かす意義とは	予習：屋外運動の意義について考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
4.	体力・運動能力について①（理論）	予習：体力・運動能力の要素について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
5.	体力・運動能力について②（実践）	予習：体力・運動能力の要素について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
6.	体力・運動能力について③（測定結果の振り返り）	予習：自己の身体について考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
7.	継続的な身体活動について	予習：これからの生活について考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
8.	季節に応じた運動と安全管理について	予習：安全管理と処置について考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	使用しない		
参考書	適宜、資料等を配布する		
学習成果の評価方法	受講態度（40%）、授業内課題（30%）、小テストおよびレポート（30%） レポート等は、フィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき事項	授業内容は状況に応じて変更する場合があります		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける		

科目	体育実技	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では実践を通して運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図る。また爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。 本授業は基礎科目の学習成果（2）に対応する。		
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解する。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上よりも、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指す。		
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
2.	ベースボール型スポーツ（基本動作）：ソフトボール等	予習：種目について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
3.	ベースボール型スポーツ（スキルアップ）：ソフトボール等	予習：ルールを把握する（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
4.	ベースボール型スポーツ（ゲーム）：ソフトボール等	予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
5.	ラケット型スポーツ（基本動作）：バドミントン等	予習：種目について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
6.	ラケット型スポーツ（スキルアップ）：バドミントン等	予習：ルールを把握する（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
7.	ラケット型スポーツ（基本動作）：卓球等	予習：種目について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
8.	ラケット型スポーツ（スキルアップ）：卓球等	予習：ルールを把握する（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
9.	ラケット型スポーツ（ゲーム）：バドミントン・卓球等	予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
10.	ネット型スポーツ（基本動作）：バレーボール等	予習：種目について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
11.	ネット型スポーツ（スキルアップ）：バレーボール等	予習：ルールを把握する（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
12.	ネット型スポーツ（ゲーム）：バレーボール等	予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
13.	ゴール型スポーツ（基本動作）：バスケットボール等	予習：種目について調べる（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
14.	ゴール型スポーツ（スキルアップ）：バスケットボール等	予習：ルールを把握する（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
15.	ゴール型スポーツ（ゲーム）：バスケットボール等	予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
教科書	なし		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の評価方法	受講態度（60%）ルール理解（20%）技能およびレポート課題（20%） レポート等は、フィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき事項	運動できる服装（ジャージが望ましい）と体育館シューズの準備。授業内容は状況に応じて変更する場合があります。 後期「保健体育」も併せて履修することを推奨。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける		

科目	体育実技（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛・橋本真理子	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。また、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。併せて、子どもとの関わりにつながる運動実践について学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(2)に対応する。		
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解することができる（知識）。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上とともに、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指すようになることができる（技能）。		
学習成果の評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス・レクリエーション	予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
2.	リズムダンス①（基本動作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
3.	リズムダンス②（基本動作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
4.	リズムダンス③（応用動作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
5.	リズムダンス④（創作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
6.	リズムダンス⑤（創作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
7.	リズムダンス⑥（発表）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
8.	リズムダンス⑦（発表）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
9.	からだ遊び①（移動性・平衡性：鬼ごっこ等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
10.	からだ遊び②（移動性・操作性：跳び箱、マット、鉄棒等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
11.	からだ遊び③（操作性：ボール、縄、フープ等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
12.	からだ遊び④（伝承あそび）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
13.	集団型スポーツ①：バレーボール	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
14.	集団型スポーツ②：バスケットボール	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
15.	まとめ（ミニ運動会、フリー活動等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：本時の内容を振り返る（30分）	
教科書	なし		
参考書	適宜、資料を配布します		
学習成果の評価方法	受講態度（60%）技能およびレポート課題（40%） レポート等は、フィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき事項	指定の服装や体育館シューズの準備。授業内容は状況に応じて変更する場合があります		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける		